

愛知県 一宮市（木曽川上下流域交流会の実施）

- 一宮市には森林がないことから、公共施設における木造化・木質化や、木製備品の調達等による木材利用の促進、木育の機会の創出といった普及啓発に取り組むこととしている。
- このため、令和4年度においては、以下の取り組みにより、普及啓発を行った。
 - ・木曽川上流域に、市内の小学生親子を引率し森林環境学習を行った。

□ 事業内容

木曽川上下流域交流会（親子木曽川源流探検隊）

市内の小学生親子を対象とし、木曽川源流の里である長野県木曽郡木祖村へ日帰りバスツアーを開催し、森林環境学習を実施。

【事業費】384千円（うち譲与税300千円）

【実績】7月30日(土)に実施
11組35名が参加



（自然体験（こだまの森））



（味噌川ダム監査廊見学）



（木曽川源流ふれあい館見学）

□ 工夫・留意した点

- ・行きのバスの中で森林の役割等の座学を行い、実際にこだまの森に行き、自然体験を行った。
- ・木祖村観光協会と連携し、ひのきの箸セットを配付した。

□ 取組の効果

- ・自然の中での様々な体験、森林のはたらきや森林保護の大切さ、水資源の重要性について理解を深めるとともに、木曽川上下流域の交流を深めることができた。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額	39,902千円
②私有林人工林面積（※1）	0ha
③林野率（※1）	0%
④人口（※2）	380,073人
⑤林業就業者数（※2）	1人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より

- 一宮市には森林がないことから、公共施設における木造化・木質化や、木製備品の調達等による木材利用の促進、木育の機会の創出といった普及啓発に取り組むこととしている。
- このため、令和4年度においては、以下の取り組みにより、公共施設の整備を行った。
 - ・ 富田山公園内にて国産木材を材料に使用した、ウッドデッキの設置工事を行った。
また、休憩施設のテーブル・ベンチも国産木材を使用して設置した。
 - ・ 大野極楽寺公園の園名板を国産木材を使用して更新した。

□ 事業内容

1 富田山公園

- ・ 国産木材を使用し、ウッドデッキ、階段、転落防止柵及びテーブル・ベンチを設置。

【事業費】58,062千円（うち譲与税55,685千円）

（譲与税は、木工事部分に充当）

【実績】木材使用量15.3m³

2 大野極楽寺公園

- ・ 国産木材を使用し、園名板を更新。

【事業費】1,133千円（うち譲与税1,133千円）

【実績】木材使用量0.27m³



（2 園名板の更新）



（1 ウッドデッキ、階段、
転落防止柵の設置）



（1 テーブル・ベンチの設置）

□ 工夫・留意した点

- ・ 両公園とも、雄大な木曽川に隣接しており、自然豊かな景色を楽しめる公園である。国産木材を使用することにより、公園の景色と調和した施設を整備することで、木の良さを利用者に感じられるよう設計した。

□ 取組の効果

- ・ 木の『ぬくもり』を利用者に肌で感じていただき、木の良さを利用者にPRできた。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額	39,902千円
②私有林人工林面積（※1）	0ha
③林野率（※1）	0%
④人口（※2）	380,073人
⑤林業就業者数（※2）	1人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より